



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 141

平成27年(2015)
2月10日

おもな内容

12月定例会のあらまし	2
一般質問	2
各会派討論の内容	8
常任委員会の審査報告	11
3月定例会予定、編集後記など	12

- 有害鳥獣処理に係る一時保管庫の整備事業費など
4億511万円の平成26年度一般会計補正予算を可決
- 桐野正明議長・岸田圭一郎副議長を選出

元気いっぱい
空手の寒げいこ



1月3日、伊佐津川河川敷で行われた
実践空手道「拳悠会」の寒げいこ

12月定例会のあらまし

●舞鶴市子育て交流施設条例を可決

子どもの健やかな成長に資するため、舞鶴市子育て交流施設を字浜2022番地（総合文化会館北側）に設置し、毎週木曜日と年末年始を除く日の9時30分から17時まで開館

●舞鶴市休日急病診療所条例を可決

休日の急病患者に対し応急的な診療を行うため、舞鶴市休日急病診療所を字行永2260番地2（舞鶴医療センター内）に設置し、指定管理者の管理の下、日曜、祝日、年末年始に診療

◎舞鶴市議会は、12月定例会を12月5日から12月25日までの21日間開催し、初日に、正副議長の選挙や各委員会委員を選任しました。（前回のまいづる市議会だよりNo.140をご覧ください。）

最終日には、市長から提案された26年度一般会計などの補正予算や条例制定などの32議案を審議した結果、いずれも原案のとおり可決・承認・同意としました。また、委員会提案により本市議会議員の期末手当を国家公務員に準じ平成26年12月分から改定する舞鶴市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正も可決しました。

平成26年 舞鶴市議会12月定例会一般質問

平成26年12月12日、15日

順番	質問方式	氏名	質問事項
1	一括	井上 孝空	1 救急医療体制の基本的条件について
			2 消防救急行政の優先課題について
			3 公的医療機関との連携について
			4 森林環境問題について
2	一問一答	後野 和史	1 安心できる地域医療と市民病院の役割について
			2 暮らし応援で地域経済を立て直すことについて
			3 雇用拡大と景気対策について
3	一括	上羽 和幸	1 平成27年度予算編成の方針について
			2 高齢者福祉について
			3 子育て支援について
			4 消費者教育について
4	一括	水嶋 一明	1 子育て交流施設について
			2 高速ネットワークの拡大について
5	一括	福村 暉史	1 市長の政治姿勢について
			2 本市における地方創生について
			3 森林資源の活用について
			4 地域のインフラ整備について
6	一括	高橋 秀策	1 来期の市政運営について
			2 公共施設マネジメントと市民会館について
			3 まちづくりについて
7	一問一答	松岡 茂長	1 町内会への支援について
			2 原発問題について
8	一問一答	伊田 悦子	1 誰もが安心して子育てできる子育て支援について
			2 土砂災害対策等について
9	一問一答	松田 弘幸	1 災害に強いまちづくりについて
			2 納骨堂について
			3 次世代の漁業の担い手育成について
10	一括	鯛 慶一	1 観光施策について
			2 教育環境について
11	一括	今西 克己	1 公共交通機関について
			2 高齢者外出支援事業について
			3 水防災対策について
12	一括	谷川 眞司	1 「海の京都観光圏」とまちなかでの取り組みについて
			2 引揚記念館について
13	一括	石束 悦子	1 集団的自衛権について
			2 原発再稼働について
			3 市民の利便を図る交通網の整備について
14	一括	西村 正之	1 自衛隊舞鶴基地の本市への貢献について
			2 今後の公共事業について
15	一問一答	小杉 悦子	1 国民健康保険について
			2 介護保険について
			3 加佐診療所について
			4 由良川下流部緊急水防災対策事業などについて

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※一問一答…全ての質問項目を一括して質問するのではなく、一問ごとに質問し、その都度、答弁を求める質問の方式

※一括…全ての質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※分割…全ての質問項目を分割し、分割した区分ごとに一括して質問し、その区分ごとに一括して答弁を求める質問の方式

平成26年12月12日、15日 本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

一般質問

救急車の現場到着時間 短縮努力を問う



鶴翔会議員団
井上 孝空

質問 消防救急行政の優先課題として、救急車の現場到着時間の短縮、適正配置などの努力義務があると考える。市の認識を問う。

答弁 救急隊の現場到着時間は、昨年平均8・3分、最も遠い地域でもおおむね20分台である。消防救急体制では、東・西消防署に救急隊、救急救命士を配置し、各種応急手当ての普及啓発に努めるなど、体制を整えている。

森林環境問題を問う

質問 本市には多くの竹林が点在する。荒れ果てた竹林は本来森林が持つ公益的機能が發揮できないばかりか、他の植生にも悪影響を

及ぼす。市では協議会、関係団体などの関わりを含め、竹林整備および竹活用の推進は検討されているのか。また、林野庁の森林資源活用を支援する制度の継続性が危惧されている中で、市の見解とその対策を問う。

答弁 放置竹林の現状は理解している。竹の有効な利用用途に関する研究開発の動向、適切な情報提供を協議会などに行い、支援制度の継続性を見守る。



荒れ果てた竹林

呼吸器外科府北部で 綾部市立病院が対応



日本共産党議員団
後野 和史

質問 呼吸器内科・外科、放射線科の医師が不在で、公的3病院で担い補完できておらず、一人診療科も放置されたままだがどうするの。休日急病診療所の受け入れはどのようなのか。

答弁 西舞鶴の人工透析治療施設は、共済病院などに開設を依頼するか、市の責任で設置すべきではないか。

答弁 今後の地域医療は府北部全体で捉え、限られた医療資源を効率的に配置する必要がある。呼吸器外科は、綾部市立病

院に重点配備され、その充実が大切だ。一人診療科の解消は連携機構で協議する。休日診療所は公的病院にかかりつけがない軽度な患者が対象となる。人工透析施設は医療法人が前向きに検討されている。

商店街との懇談で活性化を

質問 商店街の活性化へ商店街・店主の意見収集と行政との公的な懇談の場を市が開設すべきではないか。

答弁 各商店の戸別訪問で情報収集や意見交換、融資補助制度などの説明を行っている。



市立舞鶴市民病院

子どもインフルエンザ 予防接種の助成を



公明党議員団
上羽 和幸

質問 子育て世代の負担軽減と、予防接種を受けやすい環境整備を図ることで、インフルエンザの発病、重症化および流行を防ぐことを目的に、小・中学生に対してインフルエンザ予防接種の助成を願いたいが見解を聞く。

答弁 多額の費用も要することから、今後の予防接種制度を見据えたい。

質問 高齢者が地域でボランティア活動に従事することは、高齢者の社会参加や地域貢献を促し、高齢者自身の介護予防につながるものとして「高齢者のボランティアポイント」を実施する

自治体が増えている。高齢者が介護施設などでボランティア活動を行った場合に自治体から「ポイント」を付与し、商品などに交換できるもので、効果が多く報告されている。本市においても実施を願いたいが見解を聞く。

答弁 ポイントを付与する管理機関の選定、介護事業所との調整や公平性などもあることから研究課題としてま



上野家周辺のボランティア清掃

平成26年12月12日、15日 本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

子育て交流施設の 開設準備は



輝進クラブ議員団
水嶋 一明

質問 今春、「子育て交流施設」が開館されるが、オープンまでに先行して、開館に備え運営スタッフの確保と教育など、子どもの遊びに関して高い専門性を持つスタッフの配置が大変重要であると考えられる。利用者の皆さんに、何度も来館してもらうためにも、年齢に応じた多様なプログラムの練り上げやプログラムの更新などが必要であると考えられる。開館までのスケジュールはどのようなものか。

答弁

職員確保は、子どもの育ちや遊びについて専門的知識を持つ職員を配置し、豊かな遊びの実施と子育てに関する相談や情報提供に



工事が進む子育て交流施設

応じられる体制となるよう準備を進めている。子どもが、主体的・自発的に、五感を使い、自分の持つ可能性を引き出し育っていきけるような「豊かな遊び」を提供するため、多数の遊び方を準備する予定である。開館に向けては、竣工を27年3月末に行い、4月下旬のオープンで、準備を進めている。

次期舞鶴市長への 力強い出馬表明を



新政クラブ議員団
福村 暉史

質問 多々見市長は、平成23年2月に、市民からの圧倒的な支持を受け当選され、大きな期待をもって就任された。医療問題にとどまらず、従来の発想・慣習にとらわれず、コスト意識、スピード感のある民間の感覚を行政運営に取り込み、わずか4年の間に数多くの成果を上げられた。

市長におかれては、引き続き、舞鶴市長として地域のさらなる発展に全力を尽くしていただきたい。ここに次期舞鶴市長選への出馬を要請す



市長の出馬表明

るが決意は。
答弁 私は一貫してまちづくりの主役は市民であるとの考えのもと、無駄のない効率的でスピード感のある行政を推進し、住んでよし、働いてよし、訪れてよしの「選ばれるまちづくり」の実現に向け全力を傾注してきた。平成27年度以降の新たな人口フレームの目標として、「交流人口300万人、経済人口10万人」の実現、まちづくりの重点事項「心豊かに暮らせるまちづくり」を推進するため、次期市長選に出馬する。

単身赴任が多いのでは ないか



創政クラブ議員団
高橋 秀策

質問 本市には、国家公務員の方が多く、約4200人の方が勤務されている。中地区では、小学校314人中、63世帯、中学校3世帯が、官舎にお住いの子どもさんたちであると伺っている。中学生のお子さんがおられる自衛隊員さんや保安庁職員さんなどは、単身赴任の方が多いのではないかと推測される。こうした状況への

対策は、今後のまちづくり、定住促進を考える上で、大変重要なものと考えられる。ついては実態を把握する調査を行い、今後のまちづくり、人口減少対策に生かしてはどうかと考えるが、考えをお尋ねする。



海に関する国の機関が集まる舞鶴港湾合同庁舎

答弁 現在、国が掲げる地方創生の取り組みにおいては、地域の実態把握が重要視されているところであり、その推進に際し海上自衛隊、海上保安本部などにもご協力いただき、まちづくりに対する各種調査を行うとともに「舞鶴に赴任したい」と思っていただけまちづくりを進めてまいりたい。

原発の安全協定は 締結できるのか



鶴翔会議員団
松岡 茂長

質問 多々見市長は「立地自治体並みの安全協定がない限り、高浜・大飯両原発の再稼働は同意しない」考えだ。高浜原発3・4号機の再稼働が目前に近づいているが、状況から考えて国が安全性を判断し、地元が同意すれば、安全協定が締結されないまま、ずるずると再稼働される可能性が高いと考える。安全協定は締結できるのか。締結できない場合市長はあくまで反対をするのか。

答弁 安全協定締結の申し入れをしている。関西電力から明確な回答はないが企業の社会的責任で応じてくれると考える。安全協定が締結されなければ再稼働

には賛成しない。

町内会への交付金増額を

質問 自治連・区長連協議会が実施されたアンケートで、町内会の課題が浮き彫りになった。市はこれにどう対応していくのか。また自治会振興交付金を増額する考えはないか。

答弁 課題が多いと再認識した。自主的な活動促進に取り組んでいく。交付金の増額は考えていない。



再稼働が迫る高浜原発3・4号機(手前)

子育てしながら働ける 環境整備を



日本共産党議員団
伊田 悦子

質問 働きながら子育てできる環境整備で子育て安心の社会実現が求められる。そこで①安定した雇用と子育てしながら働き続けられる条件整備②育児休業中の保育所継続利用は保護者の希望で可能とすべき。その考えは。

答弁 ①特に力を入れて取り組むべき施策と認識。就業支援センターで子育て中の就職活動を支援②保護者の希望があれば対応していきたい。



中学まで医療費助成拡充を

質問 子どもの医療費助成の府内状況は、半数以上が中学卒業まで拡充。府は早ければ27年9月から中学卒業まで拡充を検討。そこで①府の拡充待ちでなく、27年4月から中学卒業まで助成を拡充すべき②他自治体はできないのか。他自治体と違う特別な理由があるのか。

答弁 ①新たな財源や準備期間が必要。府の拡充内容が決まれば来年度早い段階で府と連携し事業を実施していく②他の自治体との特別な違いはない。今後も経済的負担軽減で子育て世代を支援する。

災害に強いまちづくり



公明党議員団
松田 弘幸

質問 ①災害時の避難経路は、複数の路線が必要で、府道舞鶴野原高浜線の野原・成生間について早期の整備が望まれる②府道田井中田線の大山峠は、基準雨量を超え、たびたび通行止めになる。現在の状況を見れば大山峠のトンネル化が必要と考えるが。市の見解を問う。

答弁 ①地形的に道路を新設することは難しい。大浦地区の安全安心は重要であり、府へお願いする②トンネル化においても、多額の費用を要するため難しい。

次世代の漁業の担い手育成
質問 新規漁業就業者の育成や若手・中堅漁業者の経営力の向上などを図る実践型の研

修機関として、海の民学舎が設立された。修了生が漁業に従事し、定着してもらうためには支援が必要であるが、市の考えは。

答弁 相談窓口機能の充実や空き家の紹介・空き家改修などの助成による漁業就業と定住の支援、さらには自営漁業の経営を開始する時の初期設備導入などの支援を検討する。



田井地区の定置網漁

平成26年12月12日、15日 本会議を開き、15人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

いじめ防止の 基本方針は



輝進クラブ議員団
鯛 慶一

質問 国の「いじめ

防止等のための基本的な方針」に基づき、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するために「舞鶴市いじめ防止基本方針」を策定。その基本方針を基に、各小中学校単位で基本方針を策定されている。その基本方針に沿った対策委員会が開催され、対策などを決定されていると思われるが、策定から9カ月でどれだけ会議が開催されたのか。また舞鶴市教育委員会に報告されたのか伺う。

答弁 委員会の開催状況は、各学校が定期的に、また必要に応じて随時開催しており、本年度は全小中学校で205回の委員会を開催。保

護者や関係機関からいじめの訴えがあった時や、対処がうまくいかないなどには、校内委員会の構成メンバーに外部有識者を加えた「いじめ防止対策委員会」で対応しており、いじめ事象1件について開催した。今後とも学校、地域、教育委員会が一体となっていじめ防止に努める。



加佐地域からの 交通利便性の向上は



新政クラブ議員団
今西 克己

質問 加佐診療所から運行バスの利用に際して、過半数を超える

希望者があることから市街地の医療機関へのアクセスの向上を図る必要性があると認識しているが市としての見解を尋ねる。

答弁 通院や外出の環境改善を図るため京都交通のバス路線「大江線」を増便し、加佐診療所から西舞鶴駅、舞鶴赤十字病院を結ぶバスを運行できるようにする。

また、病院へ通院される方や買い物など外出される方についても利用い



工事中の輪中堤と大排水路

ただけるように、「大江線」に接続しやすいダイヤに改正し、1月5日(月)から実施したい。

由良川緊急治水対策

質問 志高地区の大排水路の整備について、

志高地区では以前から要望しているが現状と今後の見通しを問う。

答弁 地域にとって大変重要な水路である

と認識している。延長が長く、多額の費用を必要とすることから測量調査を実施し、その整備手法などについて検討する。

「海の京都観光圏」の 取り組みは



創政クラブ議員団
谷川 眞司

質問 ターゲットイヤーである平成27年に

予定されている「海の京都」および「海の京都観光圏」における事業やその取り組みについて尋ねる。

答弁 地域資源や歴史文化を味わっていた

だくための二泊三日の滞在プログラムを構築するとともに、外国人観光客を含めた圏域内全体の認定観光案内所の整備や観光人材の育成などを進めている。

引揚記念館の今後の予定は

質問 世界記憶遺産

登録に向けた現在の取り組み状況や今後のスケジュールについて尋ねる。

答弁 来年、戦後・

引き揚げ70年の年に、ユネスコ世界記憶遺産の登録発表や10月のリ



赤れんがパークのイルミネーション

ニューアルオープンなどの展開の中で、引き揚げの史実の継承と平和の尊さを広く発信するとともに、これらを地域の活性化にもつなげていけるよう、引き続き、市民や関係者の皆さまとともに取り組んでいく。

高浜原発再稼働中止が 一番の安全策



日本共産党議員団
石束悦子

質問 27年4月以降に再稼働が狙われる高浜原発で、市長は原子力規制委員会による安全性の確認、関西電力との立地自治体並みの安全協定の締結がなければ、再稼働は認められないと表明された。それで、若者が帰ってくるのか、子どもを産み育てられるか。市長が言っていることには矛盾がある。いかがか。

答弁 国に対して実効性のある避難計画となるよう求めている。また、日本のエネルギー政策は縮原発から脱原発へ向かうべき。代替エネルギーが確保されるまでは原発の再稼働もやむを得ない。



30km圏内に入る舞鶴(原子力防災のしおりより)

利便を図るバスの復元を

質問 与保呂までバスが来なくなり、病院や買い物に行くのにタクシーを使っている人が多い。また、常から亀岩や溝尻地域の人にとっても本数が少なく、利用したい時間に通らず不便。与保呂までのバス路線の復元と増便が必要。いかがか。

答弁 市内は30分に1本の巡回で乗りやすい環境になっている。遠隔地は大変だが今後総合的に検討したい。

自衛隊舞鶴基地の 本市への貢献度は



輝進クラブ議員団
西村正之

質問 自衛隊舞鶴基地と共存を図っている舞鶴市として、市長は自衛隊舞鶴基地に対して十分な理解と認識をお持ちであると承知しているが、改めて、自衛隊舞鶴基地の本市への貢献について、その認識を尋ねる。

答弁 自衛隊舞鶴基地の貢献については、自衛隊員の皆さまには、市民として、地域活動にも積極的に参加いただくなど、地域の活性化に大きく寄与していただいている。

また、平成16年の台風23号災害時におけるヘリなどによる災害者の救出や、平成24年の豪雪の際の雪かきボランティアなど、災害時において迅速にご活躍いただき、市民と地域社会の安全・安心の確保に多大なご尽力をいただいている。市としては、今後とも、舞鶴市民が自衛隊に寄せる信頼や理解を基礎とし、自衛隊舞鶴基地とのさらなる共存関係の充実に努めてまいりたい。



海上自衛隊舞鶴音楽隊と海上保安庁音楽隊のジョイントコンサート

家庭医の役割発揮で 役立つ診療所に



日本共産党議員団
小杉悦子

質問 加佐診療所の充実が、地域で住み続けることができるかどうかの重要な条件「診療所はなくさんといほしい」、「将来のことや子どものことを考えると近くに頼りになる診療所があつてほしい」など、住民が困った時に役に立つ役割発揮が求められる。いまだ今後の方向性が示されず、公的病院へのバス問題も置き去りで、今日に至っていることについて問う。

答弁 地域に欠かせない医療を中心に対応することを考えている。舞鶴赤十字病院前を結ぶ連絡バスを1月5日(月)から実施したい。

高野川の早期改修を

質問 高野川は、大雨の時被害が多発、民家もすぐそばにあり、護岸も老朽化、市民は大変な思いをされている。進められている改修計画作りはどんな手法か、今後のスケジュールはどうか。

答弁 京都府において原案策定に向けて取り組みをされ、来年度は、関係機関への意見照会、住民からの意見聴取の後、計画案としてまとめられる。



高野川の改修を

12月25日の最終本会議において、提案された議案に対して各党派が討論をしました。

討

論

こころ通う学校給食で
地域経済に貢献を



日本共産党議員団
小杉悦子

3議案に反対、28議案に賛成する。平成26年度一般会計補正予算第5号で、市内小学校全ての学校給食調理業務が民間に委託される。直営から民間委託に変更することで人件費を削減してきただけだ。委託先が市外の大手給食業者で、多額の税金が市外業者のもうけとして流れること、調理員の働く環境は厳しい。教育的観点から、市内への経済波及効果の面

からも、直営時より大きく後退をしていると考える。

安心できる医療と介護を

舞鶴市休日急病診療所条例では「夜間」が抜けている。中丹地域医療再生計画に沿ったものではない。一次救急医療の充実という、市民の医療を守るという観点が弱く、休日急病診療所では薄れる。2

点目に、市が直営で運営せずに指定管理で進めることだ。市の医療に対する公的責任の役割発揮で「夜間」部分の早期具体化の検討を早急に進めるべきと考える。介護保険制度の改善に、国に対して何も言わない姿勢が問題だ。

有害鳥獣被害
防止対策の充実を



輝進クラブ議員団
網 慶一

今12月定例会に上程された全議案に対し賛成する。

第78号議案、平成26年度舞鶴市一般会計補正予算について、農地や道路橋りょう、漁業などの災害復旧、有害鳥獣被害防止対策、学校給食委託経費など市民生活の充実や学校給食の推進などに必要な事業の予算で賛成する。

第84号議案、舞鶴市一般職の任期付職員採用等に関する条例制定について、従来規則などで対応していた臨時職員などの採用の根拠を4種



城北中学校の学校給食

類の任期付職員として条例で定めるものがあるが、専門的な行政ニーズに対応し、行政事務の適正な執行と効率的な組織運営を図る上から必要であるので賛成する。

第94号議案の条例制定では、舞鶴市休日急病診療所設置に伴い、施設の適正な運営のために制定されるものであり、市民の皆さんが安心して休日に診察を受けていただけるようご尽力いただきたいと要望し、全議案に賛成する。

漁港海岸保全対策に
今後も継続を



公明党議員団
松田弘幸

上程された31議案に対し、賛成の立場で見、要望を申し上げる。

第78号議案の平成26年度舞鶴市一般会計補正予算、中丹地域有害鳥獣処理施設一時保管庫整備事業では、焼却処理を適正かつ効率的に行う一時保管庫を

市内3カ所に整備するものがあるが、1基当たり1・5坪と小さいため輸送や連携などを行い、放置がないように要望する。漁業災害復旧支援事業費補助では、台風で再び被害を受けた定置網



海水浴場などのごみ回収

3経営者に対し支援するものである。定置網経営は、地元の基幹産業であり今後も継続をお願いする。漁港海岸保全対策事業は、台風や低気圧により、海岸や漁港に漂着したごみや流木などの回収・処分をする事業である。観光シーズンには早期の対応が必要で、今後も継続して回収・処分ができるよう要望する。舞鶴市一般職の任期付職員の採用等に関する条例制定は、これまでの臨時職員の立場をさらに明確にするものであり賛成する。



市政の重点施策を評価



創政クラブ議員団
尾関善之

12月定例会に上程された全議案に賛成する。第78号議案のうち一時保管庫整備事業は、中丹地域有害鳥獣処理施設に搬入するまでの一時保管庫を西地区、東地区、加佐地区に設置するもので、完成すると処分の場所の選定や労力など、負担も緩和され、また、衛生面からも早期の完成が待たれる。漁業者災害復旧支援事業、漁港海岸保全対策事業なども必要な支援であり賛成する。第79号議案のうちペイジー口座振替受付サービスは、キャッ

シユカードで簡単に口座振替申し込みができる端末機の設置で、国民健康保険のほか、市民税、水道料金にも利用でき、口座振替の利用促進が図れる。

選ばれるまちづくりの実現

26年7月舞鶴若狭道と27年春の京都縦貫道の全線開通により、近畿を周回できる高速道路網が完成し、人・物の流れが大きく変わる。この好機を逃すことなく舞鶴観光ブランドプロモーション戦略を強く押し進め、活力あるまちづくりを期待する。



舞鶴若狭自動車道の開通式典
(福井県美浜町総合体育館)

市民が求める休日急病診療所とは



鶴翔会議員団
亀井敏郎

全議案に賛成の立場を表明し、若干の意見を申し述べ討論する。舞鶴市休日急病診療所条例制定に関する本診療所の設置は、推進される中丹地域医療再生計画の中でも具体的な施策として、「舞鶴市休日(夜間)急病診療所」と位置付けられていたと認識する。現行では、執行途中において、突然、「夜間」が削除され、平成27年7月の開設に向け準備が進められているが、これまで幾多の議論を重ねてきたにもかかわらず

ず、夜間を削除した理由、事情はいまだ市民に明確にされていない。当初の計画には、なぜ夜間が盛り込まれていたのか、その経緯を丁寧に、市民に分かりやすく説明すべきである。本来、市民のためになる診療所とは、昼夜を問わず、いつでも誰でも安心して受診できることが大前提であると考えることから、診療所の開設後は舞鶴市の責任において早期に「夜間」診療への拡大を強く求めるものである。



求められる休日夜間診療

有害鳥獣処理施設一時保管庫を評価



新政クラブ議員団
上野修身

12月定例会に上程された全議案に賛成する。一般会計補正予算は、債務負担行為の補正、台風被害による災害復旧支援など各款にわたる重要な予算措置である。中丹地域有害鳥獣処理施設一時保管庫整備事業費1280万円については、捕獲したイノシシ、サル、シカなどは、それぞれの集落で埋設処理しているが、埋設場所、埋設作業の負担の問題、そして環境や衛生面の配慮から焼却施設の整備が必要であると一般質

問でも要望していた。このたび大江町に3市共同で利用する焼却施設が整備され、これに合わせて効率的に処理、運用するため、施設に搬入するまでの一時保管庫を市内3カ所に整備するもので賛成する。同じく有害鳥獣被害防止対策事業費で捕獲報償費580万円が追加計上された。被害の軽減を図る最も有効な手段は個体数を減少させること。今後も農家の生産意欲向上のため「捕獲」、「防除」両面になお一層の対策をお願いしたい。



市街地に出没したサル

議案の審議結果など

12月5日と15日、25日の本会議での議案採決の結果は、次のとおりです。
この採決結果は、「押しボタン式投票」で行ったものです。

全会一致で可決した条例議案

- 舞鶴市一般職の任期付職員の採用等に関する条例制定について
- 舞鶴市一般職の非常勤職員の勤務時間、報酬等に関する条例制定について
- 舞鶴市臨時的任用職員の勤務時間、賃金等に関する条例制定について
- 舞鶴市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市情報公開条例及び舞鶴市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例制定について
- 舞鶴市子育て交流施設条例制定について
- 舞鶴市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市保育の実施に関する条例を廃止する条例制定について
- 舞鶴市の特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

全会一致で可決したその他の議案

- 指定管理者の指定について（舞鶴赤れんがパーク）
- 指定管理者の指定について（舞鶴市南デイサービスセンター及び舞鶴市南在宅介護支援センター）
- 指定管理者の指定について（舞鶴市加佐デイサービスセンター及び舞鶴市加佐在宅介護支援センター）
- 指定管理者の指定について（舞鶴市中デイサービスセンター）
- 工事請負契約の変更について（子育て交流施設新築工事）
- 工事請負契約の変更について（東地区公立保育所新築工事）
- 工事請負契約の変更について（舞鶴市総合文化会館改修工事）
- 土地改良事業の施行について
- 市道路線の認定について
- 監査委員の選任について
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 農業委員会委員の解任請求について
- 農業委員会委員の推薦について
- 原子力防災・安全等調査特別委員会の設置について
- 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画に関する調査特別委員会の設置について

可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…可決および認定、採…採択、不…不採択、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

林三弘	山本治兵衛	今西克己	上野修身	岸田圭一郎	福村暉史	眞下隆史	和佐谷寛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	後野和史	井上孝空	亀井敏郎	松岡茂長	鯛慶一	西村正之	水嶋一明	議決をした日	
創政	創政	新政	新政	新政	新政	新政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	鶴翔	鶴翔	鶴翔	輝進	輝進	輝進			
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○		12月25日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○		12月25日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	12月25日	

輝進…輝進クラブ議員団 ☆舞鶴市議会の議員定数は 28 人です。

本会議において、付託された議案を5常任委員会において、審査しました。予算決算委員会（付託議案8件）、民生環境委員会（付託議案9件）

予算決算委員会、民生環境委員会の審査報告

予算決算委員会

6件を全員賛成で可決
および承認、2件を賛成多数で可決

平成26年度舞鶴市一般会計補正予算(第5号)については、学校給食調理業務委託経費は、27年度から新たに業務を委託することとなる由良川小学校を含め10校分で、5億2200万円の債務負担行為であること。委託業者は、入札において、市内業者にも入札の案内をしているが、結果として、市外業者となつていました。などの答弁がありました。

討論において、反対の立場から、学校給食調理業務委託経費について、学校給食業務の民間委託は、公教育における学校教育の目指すべき教育的観点から、また、調理業務の委託先が市外業者であり、市内への経済波及効果の観点からも、直

営で給食を実施しているときよりも大きく後退しているなどの意見がありました。

一方、賛成の立場から、中丹地域有害鳥獣処理施設一時保管庫整備事業費については、有害鳥獣処理施設に搬入するまでの一時保管庫の整備であり、移送などの連携を図り、円滑な処理に努められたなどの意見がありました。

民生環境委員会

休日急病診療所を
字行永に設置

舞鶴市休日急病診療所条例制定については、休日における急病患者に対し、応急的な診療を行うため、舞鶴市休日急病診療所を字行永2260番地2(舞鶴医療センター内)に設置し必要な事項を定めるものであるとの説明を受けました。

質疑において、休日診療については、患者の8割が昼間に受診していることから、まずは、昼間に診療所を開設し、夜間については、一次救急医療施設としての設置目的などを市民の皆さんにご理解いただき、運営が軌道に乗った上で考えたいことなどの答弁がありました。

討論において、反対の立場から、以前、休日急病診療所が開設されていたが、夜間のない診療所では同じ経過をたどるのではないかと、一次救急医療を市が法的責任を果たして進めるには、市の直営で運営することが大切であるなどの意見がありました。

一方、賛成の立場から、安心の医療という点では、体制を整えば、夜間の診療も開設していただきたいとの意見がありました。



全会一致で可決した予算議案

- 専決処分の承認を求めることについて（平成26年度舞鶴市一般会計補正予算（第4号））
- 平成26年度舞鶴市国民健康保険事業会計補正予算（第2号）
- 平成26年度舞鶴市簡易水道事業会計補正予算（第1号）
- 平成26年度舞鶴市下水道事業会計補正予算（第1号）
- 平成26年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計補正予算（第2号）
- 平成26年度舞鶴市一般会計補正予算（第6号）

賛否が分かれた議案

議案名	議員名簿等（会派内は五十音順）						伊藤清美	尾関善之	肝付隆治	桐野正明	高橋秀策	谷川眞司
	出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	創政	創政	創政	創政	創政	創政
平成26年度舞鶴市一般会計補正予算(第5号)	28	27	23	4	0	可	○	○	○	○	○	○
平成26年度舞鶴市介護保険事業会計補正予算(第2号)	28	27	23	4	0	可	○	○	○	○	○	○
舞鶴市休日急病診療所条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○	○	○	○

本会議において、付託された議案を5常任委員会において、審査しました。建設委員会（付託議案1件）、総務文教委員会（付託議案7件）
経済消防委員会（付託議案5件）

建設委員会、総務文教委員会、経済消防委員会の 審査報告、定例会予定、編集後記

建設委員会

2路線の市道の路線を認定

市道路線の認定については、民間の開発により整備された下安久地区の下安久長通2号線と七日市地区の東戸田井砂入1号線を市道に認定するものであるとの説明を受けました。質疑において、市道の認定基準は、市民の皆さんが生活される上で必要な道路であることが前提で、起点および終点のいずれかが公道に接し、道路の幅員が4.5以上、勾配が12%以下であること、舗装や路面排水処理施設が整備されていること、土地の権利が舞鶴市にあることなどであるとの答弁がありました。討論はありませんでした。

総務文教委員会

優秀な人材や専門的職員 などの確保へ制度改正

舞鶴市一般職の任期

付職員の採用等に関する条例制定については、関係法律に基づき、特定任期付職員、一般任期付職員、その他任期付職員および任期付短時間勤務職員の4種類の任期付職員に係る採用および給与について必要な事項を定め、平成27年4月1日から施行するものであるとの説明を受けました。

討論において、賛成の立場から、市の業務は多様化し、市民ニーズも複雑化している中、市民の期待に応える行政を遂行していくためには、内部職員では得られない外部の優秀な人材を活用していくことが求められており、専門的な知識や優れた識見を持った人材の採用を円滑に行う上で必要な条例であるとの意見。また、任期付職員制度を効果的に運用することが、市民の負託に応えることとなるとの意見がありました。

特別委員会を設置

12月15日の本会議において、次の2特別委員会の設置を可決しました。

- ①原子力防災・安全等調査特別委員会
 - 目的 関西電力高浜発電所等に係る原子力防災、安全性の調査研究
 - ②新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画に関する調査特別委員会
 - 目的 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画に関する事項の調査
- 委員数 9名
委員数 26名（正副議長を除く）

経済消防委員会

赤れんがパークの指定 管理者は舞鶴観光協会 を指定

舞鶴赤れんがパークの指定管理者の指定については、指定管理者を公募し、一般社団法人舞鶴観光協会から申請があり、指定管理者選定委員会で評価され、候補者として決定し、平成27年4月1日から5年間、指定管理者に指定したいとの説明を受けました。討論はありませんでした。

編集後記

平成26年11月に執行されました舞鶴市議会議員一般選挙におきまして、28人が第19期の議員として活動させていただくこととなり、12月の定例会で、そのうちの7人によって議会報編集委員として取り組むこととなりました。

さて、国では「地方創生」が掲げられ、舞鶴市にも大きな波が打ち寄せようとしているところです。舞鶴市議会では提案された議案に対しさまざまな議論を重ね、舞鶴市がより一層発展していくよう努力をしなければならぬと考えておりますし、そのためにも各議員のさらなる成長・進歩が必要と考えております。

そこで、「まいづる市議会だより」は、市民の皆さま方に、各議員の活動内容や議会での質問・審議内容をお知らせするのに、大変重要なものであると認識しております。この「まいづる市議会だより」は、限られた紙面ではありますが、タイムリーでニーズに合った新しい議会だよりとなりますよう努めてまいりますので、ご意見・ご感想をお寄せ下さいますようお願いいたします。

（岸田圭一郎委員長）



【議会報編集委員会】		委員	杉島 久敏
委員長	岸田圭一郎	委員	谷川 真司
副委員長	伊田 悦子	委員	西村 正之
委員	井上 孝空	委員	眞下 隆史

3月 定例会予定

2月

2月20日(金)本会議(開会)
27日(金)本会議

3月

3月4日(水)請願受理締切
9日(月)本会議(代表質問)
10日(火)本会議(一般質問)
11日(水)本会議(一般質問、質疑)
12日(木)予算決算委員会分科会・常任委員会
13日(金)予算決算委員会分科会・常任委員会
16日(月)予算決算委員会分科会・常任委員会
17日(火)予算決算委員会分科会・常任委員会
23日(月)予算決算委員会
27日(金)本会議(閉会)

※予定は変更することがあります。